

## &lt;全体分析&gt;

試験時間

80 分

## 解答形式

記述式と客観式。

## 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

- ・読解総合は、英文量が2022年度の1,815語から1,951語と136語増加したが、分量に変化なしと言える。2022年度は、**I**、**II**全体で客観問題が出題されず、日本語での記述問題が12問もあったが、2023年度は日本語での記述問題が**I**のみでの出題(5問)となり、日本語の記述量は大幅に減少した。ただし、解答をまとめるのに苦労する設問もあったため、全体としては難易度に変化なしと言える。
- ・英作文は、小問の数が2022年度の10問から20問に増えた。2022年度は短い英文の一部を指定された語を用いて書き換える平易な問題の出題であったが、2023年度はそれに加えて語句整序問題と会話文完成問題がそれぞれ5問ずつ出題されたため、解答の負担は増えた。ただし、全体として基本的な知識を問う出題であったので、難易度に変化はない。

## 出題の特徴

- ・読解総合の日本語記述問題では、字数の範囲指定や制限のある問題は出題されなかった。
- ・読解総合の内容真偽問題では、T/Fの判定に加えて、「本文で書かれていないことであればNG」という判定もあった。
- ・英作文は、書き換え問題に加えて、語句整序問題と会話文完成問題が出題された。

## その他トピックス

特になし。

## &lt;大問分析&gt;

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	読解総合	「うたた寝と創造力」 (1,074 words)	設問は、問1が下線部和訳、問2が内容および理由の説明、問3が根拠の説明、問4が3つのワードの共通点の説明、問5が本文中で直接的に述べられていない数値の説明となっている。 問1 非制限用法の関係代名詞節の処理に工夫が必要。 問5 数値を特定したうえで、それが何を示しているか簡潔に述べるのに工夫が必要。 《出典》Bret Stetka, “Nap Like a Genius”, <i>Scientific American</i> (April 2022) (大学発表)	標準
II	読解総合	「無知を認めた近代科学」 (877 words)	設問は、問1が本文の語句を用いた英文空所補充(4問)、問2が同意語句選択(2問)と英文完成選択(2問)、問3が内容真偽(4問)となっている。 《出典》Y. N. Harari, “ <i>Sapiens: A brief History of Humankind</i> ”, (Harper, 2015) (大学発表)	標準
III	英作文	英作文	設問は、問1が語句整序(5問)、問2が指定された語を用いた書き換え(10問)、問3が指定された語と語数を用いた会話文完成(5問)となっている。 問3(5) small を用い、かつ指定された語数で空所を埋めるのに苦労する。続く発言から、space が可算名詞で用いられていることに注意する。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」

難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## &lt;学習対策&gt;

千葉大の英語の特徴は、正確な読解力と解答の記述力である。1,000 words 前後の分量がある標準的難度の長文を速く正確に読む練習に加え、「書く」練習をすることで日本語での表現力と記述力を身につけることが重要となる。そのためには、日頃の読書が欠かせない。また、英作文は、基本的な表現と正確な文法・語法・構文の知識をしっかりと定着させることが重要であり、そのために丁寧に学習することは英文の書き換えの対応力にもつながる。英語も日本語も豊富に「読むこと」「書くこと」が合格へのカギとなる。